



Press Release

世界初のスーパーSUV : ランボルギーニ・ウルス

- デザイン、パフォーマンス、ドライビング、エモーションは紛れもないランボルギーニの DNA
- 雪上や砂漠など様々な環境に適した走りを実現
- 650 hp、最大トルク 850 Nm の 4.0 リッターV 型 8 気筒ツインターボエンジンが、最大限のパフォーマンスを実現
- 0-100 km/h 加速 3.6 秒、最高速度 305 km/h
- アクティブ・トルク・ベクタリングと 4 ホイール・ステアリングを装備した 4WD システムが、完璧なハンドリングを実現
- カーボン・セラミック・ブレーキ、アダプティブ・エア・サスペンション、アクティブ・ロール・スタビライゼーションが、最大限の安全性と快適性を実現
- "Tamburo"ドライビング・ダイナミクス・セクターにより、最大 6 つのドライブモードとエゴモードを選択可能

【2017 年 12 月 4 日、サンタアガタ・ポロネーゼ】

アウトモビル・ランボルギーニは、第 3 のモデルとなる、ランボルギーニ・ウルス "Lamborghini Urus"(以下、ウルス)を発表しました。ウルスは初のスーパーSUV モデルで、ベンチマークとなる出力、パフォーマンス、ドライビング、素晴らしいデザイン、ラグジュアリーさ、日常での使いやすさを備え、ラグジュアリー・カーのカテゴリーに新たな地位を確立しました。

アウトモビル・ランボルギーニ CEO のステファノ・ドメニカリは次のようにコメントしました。「ウルスは、ランボルギーニの DNA を最も汎用性ある車両、SUV に吹き込むという明確なビジョンを持ったアプローチを行い、これまで不可能だったスーパーSUV というレベルに到達しました。デザイン、パフォーマンス、ドライビング、エモーションの点で真のランボルギーニであると同時に、様々な環境に適した車です。ウルスはハイパフォーマンスカーとして、ランボルギーニ・ファミリーにフィットします。新しいタイプのファイティングブルを生み出すための研究開発の集大成であり、お客様と当社にとって、新たな可能性の扉を開くスーパーSUV です。」

4.0 リッターV 型 8 気筒ツインターボエンジンを搭載し、6,000 rpm での出力は 650 hp、最高回転数 6,800 rpm、2,250 rpm で最大トルク 850 Nm を発生します。比出力は 162.7 hp/l でクラス最高レベル、パワーウェイトレシオはクラス最高で 3.38 kg/hp です。

0-100km/h 加速は 3.6 秒、0-200km/h 加速は 12.8 秒。そして、最高速度は市販されている SUV の中で最速の 305 km/h です。

Automobili Lamborghini S.p.A.

Head of Communications

Gerald Kahlke

T +39 051 6817711

gerald.kahlke@lamborghini.com

Brand & Corporate Communications

Clara Magnanini

T +39 051 6817711

clara.magnanini@lamborghini.com

Corporate Media Events & Motorsport PR

Chiara Sandoni

T +39 051 6817711

chiara.sandoni@lamborghini.com

Product Media Events &

Collezione Communications

Rita Passerini

T +39 051 6817711

rita.passerini@lamborghini.com

Lamborghini Squadra Corse Communications

Lorenzo Facchinetti

T +39 051 6817711

extern.lorenzo.facchinetti@lamborghini.com

Press Office UK

Juliet Jarvis

T +44 1933 666560

juliet@jic.uk.com

Press Office Middle East & Africa

Zantelle Van der Linde

T +971 56 522 1545

zantelle.vanderlinde@lamborghini.com

Press Office Eastern Europe & CIS

Tamara Vasilyeva

T +7 499 957 6706

tamara.vasilyeva@lamborghini.com

Press Office North & South America

Jiannina Castro

T +1 703 3647926

jiannina.castro@lamborghini.com

Press Office Asia Pacific

Silvia Saliti

T +65 67186073

silvia.saliti@lamborghini.com

Press Office Greater China

Nancy Rong 荣雪霏

T +86 10 6531 4614

xuefei.rong@lamborghini.com

Press Office Japan & South Korea

Kumiko Arisawa

T +81 3 5475 6626



Press Release

多面的な個性

ウルスはラグジュアリーSUV であると同時に最もパワフルで、ドライバーだけでなく、同乗者も楽しめる、スーパー・スポーツカーのダイナミズムを備えています。

快適な乗り心地、高い地上高、ラグジュアリーな室内空間を備え、街中での運転のしやすさ、長距離ドライブでの快適性、一般道とサーキットでのスリリングなスーパー・スポーツカーのダイナミクス、様々な環境におけるオフロード性能を提供します。ウルスはおお客様の希望に合わせてスポーティまたはエレガントスタイルのどちらにも対応できます。また、日常使いできると同時に、爽快なスーパースポーツも体験できます。

名称

ウルスの名称は、ランボルギーニに受け継がれている伝統と同じく、闘牛の世界に由来します。ウルスはオーロックスとしても知られ、家畜の先祖にあたる大型の野生牛です。過去 500 年間にわたり繁殖されてきたスペインの闘牛は、ウルスと非常に近い外見をしています。

Power and Performance

エンジン

ウルスは、新型のアルミニウム製 4.0 リッターV 型 8 気筒ツインターボ、ガソリンフロントエンジンを誇ります。ウルスの理想的な使用レンジを反映するため、ランボルギーニ初のターボエンジンを採用しました。特にオフロードでは低回転での高いトルクレベルが必要となり、最適なエンジン応答性と効率を実現します。ウルスは 6,000 rpm での出力が 650 hp、最高回転数 6,800 rpm、2,250 - 4,500 rpm で最大トルク 850 Nm を発生し、比出力は 162.7 hp/l です。乾燥重量は 2,200 kg 以下で、最も優れたパワーウェイトレシオ 3.38 kg/hp を備えた SUV です。

0-100km/h 加速は 3.6 秒、0-200km/h 加速は 12.8 秒。そして、最高速度は 305 km/h です。一方、ブレーキ性能は時速 100 km から停止までに要する距離は 33.7m です。

低い位置に搭載したコンパクトなエンジンが、車両の重心を最適にします。ターボチャージャーを燃焼室近くの中央部分に置いたことで、最適なエンジン応答性が確保されます。ツインスクロール・ターボチャージャーは同時に作動し、全負荷状態で最大出力を提供します。これによりターボラグが低減され、低速時でも、トルク曲線のあらゆる場所で最大トルクと円滑な出力提供を確保します。2 つ別の排気フローを採用することで、排ガス循環での相互干渉を除去することができ、シリンダー内の連続燃焼を補完します。新シリンダーライナー技術は、ダブル・オーバーヘッド・カムシャフトと可変バルブタイミングを用いることで、重量を低減しつつ、8 気筒エンジンの最高性能を確保します。シリンダーの不活性化によって、燃料消費が減り、車両性能と効率的なエンジン機能の完璧なバランスが実現されます。

トランスミッションとギアボックス

ウルスは8速オートマチック・ギアボックスを装備しています。コンパクトで効率的な電気油圧式制御のプラネタリギアボックスは、極めて短いローギア比と長いハイギア比を実現するべく調整されています。極めて効率的なスリップ制御付きコンバータ ロックアップクラッチと、特別に開発されたトルクコンバータは、エンジンの極めて高い応答性を保証し、強力なスターティングレシオが気持ちを高揚させる加速を、低エンジン回転



Press Release

での高速度が最適な燃費と排出を実現します。非常に効率的なギアブレーキも確保されます。

ランボルギーニの 4WD とトルクベクタリング:ドライビング・ダイナミクスの最適化

ウルスの四輪駆動システムは、あらゆる道路と地面、天候状態で、安全で応答性の高いドライビング・ダイナミクスを実現します。Torsen の自動固定式セントラル・ディファレンシャルは、あらゆる運転(特にオフロード)で、最大の制御と機敏性を提供します。独立したフロント・アクスルとリア・アクスルに、標準として 40 対 60 の比でトルクが配分されます。70%の最大動的トルクがフロントへ、あるいは 87%がリアへ配分され、路面との摩擦が大きくなることでアクスルへの牽引力が高まります。

リア・ディファレンシャルを経由するアクティブ・トルク・ベクタリングを特徴としており、ドライブモード、運転スタイル、路面のグリップに応じて、個々のホイールへ瞬時に推進力が配分され牽引力を向上させます。トルクベクタリングによりステアリングコントロールも向上することで、ステアリング操作が楽になり、機敏性が増すことでコーナリング速度が上がり、よりスポーティな運転が可能になります。ヨー運動は制御され、コーナー進入時のアンダーステアと加速中のタイヤスリップを防ぎます。STRADA、TERRA (オフロード)、NEVE (雪上) の各ドライブモードで、トルクベクタリングがアンダーステアを低減し、安全でシンプルな運転を実現します。SPORT モードと CORSA モードでは、オーバーステア特性を高めることにより、トルクベクタリングがウルスをさらに機敏にします。四輪駆動システムと ESC との相互作用がオーバーステアを管理し、正確で楽しい運転を実現します。SABBIA (砂漠)モードでは、砂利や砂丘などグリップの弱い地形での機敏性と正確さを保証するべくシステムの調整が行われ、オフロードの楽しさを味わえます。

リアホイールステアリング

ウルスは全速度レンジにわたり、アヴェンタドール S で導入されたリアホイールステアリングを採用しています。車速と選択したドライブモードに応じて、リアステアリング角に最大 +/- 3.0 度の差があります。低速時はリアアクスル・ステアリング・アングルがフロントホイール・アングルの反対になり(カウンターフェーズ・ステアリング)、ホイールベースを最大 600 mm 短くして、機敏性の向上と操縦性向上のための、最小回転半径の低減を実現します。高速時はリアアクスル・ステアリング・アングルがフロントホイールと同じ方向になり(インフェーズ・ステアリング)、ホイールベースを最大 600 mm 長くして、安定性と乗り心地を向上させるとともに、最適なドライビング・ダイナミクスを実現します。

Lamborghini DNA

感情に訴えるランボルギーニサウンドとフィーリング

エンジン、エグゾースト・システム、シャシーへの 360 度アプローチを採用して、不要な機械騒音を低減し日常の使いやすさを確保する一方、エモーションに訴えるドライビングエクスペリエンスとサウンドを維持しています。STRADA モードの最も静かで快適な低周波数サウンドから、CORSA モードのよりスポーティで気持ちを高揚させるサウンドとフィードバックまで、Tamburo を通じて選択したドライブモードに応じてウルスのサウンドやフィーリングが変化するよう、V 型 8 気筒エンジンへの調整が行われてきました。特別に開発されたエグゾースト・システムも、エンジン速度に応じてサウンドアウトプットをカスタマイズします。ウルスは加速時に、スポーティなサウンドとシャシーフィードバックを生み出します。



Press Release

Tamburo – ランボルギーニ・ドライビング・ダイナミクス・コントロール

センターコンソールに装備した Tamburo ドライブモード・セレクターは、車両の全ダイナミックシステムを制御しており、路面状態やドライバーの好みに応じて、STRADA、SPORT、CORSA の各モードと追加の NEVE（雪上）モードを選ぶことにより、ドライビング・ダイナミクスが選択できるようになっています。オプションとして、TERRA（オフロード）モードと SABBIA（砂漠）モード、2 つのオフロード設定も提供しています。

STRADA モードでは速度に応じて車高が変わり快適性を高めます。一方 SPORT モードでは、車高が低くなり、あらゆる速度での安定性と正確さを確保します。CORSA モードでは横揺れを最小限にすることで、正確さが高まりパフォーマンス志向になります。NEVE、TERRA、SABBIA の 3 つのオフロードモードでは、地上高を高くすることによって、障害物を安全に乗り越えられ、スタビライザーがコーナリング時の独立した非対称運動を与えて最適な牽引力を実現します。

今回、ランボルギーニ初となる電気機械式アクティブ・ロール・スタビライゼーション・システムが採用されています。このシステムは、スタビライザーハーフのアクティブな切り離しを通じて、最も機敏な運転と応答性の高いステアリングを確保しつつ、でこぼこ道での直線とコーナーの揺れ角度を最大限低減します。

特別に調整されたウルのダンピングシステムは新しいダンパーバルブを組み込み、コーナリングではより固く、直線ではより柔らかくと、様々な運転条件に合わせて継続的に調整を行います。適応可能ダンパーのコンセプトは、ANIMA を通じて様々なドライブモードに対して自動的に調整されます。あるいはドライバーが EGO モードを使うと、運転スタイルや道路状態に応じて、極めて快適な乗り心地から非常にスポーティでアグレッシブなセッティングまで必要な剛性を選択して、カスタマイズすることができます。

エクステリアデザイン

ウルスは LM002 やランボルギーニの伝統の基本となるスーパー・スポーツカーからヒントを得た、ランボルギーニのモデルで、全体の 2/3 がボディ、残りの 1/3 が窓という、ランボルギーニ・スーパー・スポーツカーの比率を採用しています。

ウルスは最大 5 人が乗車できるスペースを備えたモデルです。短いオーバーハングが、強さ、たくましさ、ダイナミックで自信に溢れたキャラクター、路面を遠くまで見渡せるポジションを感じさせます。

印象的なフロントは、ボンネットが盛り上がった部分の下に、フロントエンジン動力装置が配置され、ミウラとアヴェンタドールを思い起こさせます。またカウンタックで初めて登場し、ダイナミックなランボルギーニの特徴である斜めのフードラインがボンネットにアクセントを添えています。誇り高さ低いフロントは、頑丈なフロントフェンダーに縁取られています。ウルスは市販車の中で最強の SUV です。六角形のテーマを表す大きなエアインテークは、低い位置のフロントスポイラーに接続され、この車の空気力学的効率とずば抜けたパフォーマンスをさらに強調しています。フロントライトは流線型で細長く非常にスポーティで、水平位置に配置され、馴染みのあるランボルギーニの Y 字形 LED ヘッドライトを採用しています。

その特徴的なシングルラインのシルエットは、ダイナミックなクーペスタイルのフライラインを特徴とし、フレームのないドアがアクセントを添え、フロントエンド下部に見られる典型的なランボルギーニの特徴を強調しています。パワフルなキャラクターラインはリアウィンドウの近くで上に向かい、フロントとリアをダイナミックにつないで、シングルピースから作られたまとまりあるデザインを強く印象づけています。LM002 の特徴でもある Y 字形のフロント・エアインテークは、イタリアの国旗が細部に用いられ、イタリアで誕生し製造されていることを示しています。



Press Release

ルーラインとフレームのないウィンドウの位置が低く、ドライバーと同乗者の座席も車内の低い位置にあります。鋭い傾斜のフロントガラスと、グラスオングラスが C ピラーを代替する大きく角度をつけたリアウィンドウは、ウラカンをはじめとするランボルギーニモデルの感情に訴える要素であり、ウルスのスーパー・スポーツカーらしいシルエットを強調しています。フロントとリアの六角形のホイールアーチは、LM002 とカウンタックから受け継いだディテールで、21 インチから 23 インチのホイールを装着できます。

リアは、ランボルギーニのパワフルなラインを誇示し、この車の力強い特徴を高めています。ルーラインは、カウンタックやムルシエラゴなどのランボルギーニモデルのスタイルでルーパネルをベースに広がっています。頑丈なリアショルダーが大きく傾斜したリアウィンドウを支え、フェンダーと並列のブラックパネルによってリア全体がつながり、エアグリル、ランボルギーニロゴ、Y 字形のテールランプがその中に配置されています。リアディフューザーはランボルギーニ・レースカーにインスパイアされたもので、円形のダブルエグゾーストパイプが組み込まれています。

上から見ると、ウルスの際立ったフロントフェンダーとリアフェンダーは、車両中央部のスリマーによって強調され、その曲線的ラインが、ランボルギーニ・スーパー・スポーツカーの外見の特徴を示しています。リアドアのラインには凹凸が取り入れられ、ウルスにくびれたウエストを与え、その部分からリアに向かって、ラインがダイナミックに広がっていきます。

空力性能の最適化

どのサーフェスも、この車の空力性能とランボルギーニ・スーパー・スポーツカーとしての個性に貢献しています。ランボルギーニデザインの中で、フォルムと機能が連携して効果を発揮し、各パネルがこの車の抵抗係数全体に貢献しています。

空力効率に優れたアンダーボディの広範囲にカバーされた部分と共に、フロントスプリッターと超大型エアインテークが最適なエアフローを確保します。また、リアウィンドウ外縁部のエアロダイナミック・ブレードと、フローティング式リアウィング、一体化したリアスポイラーとリアリップが、空力抵抗を低減します。Naca 冷却を装備した先進のホイールハウス空力性能向上装置は、フロントブレーキ冷却機能を改善・増大させて、ドライビング・ダイナミクスを強化します。

優れた空力性能はウルスの室内音響特性にも寄与します。乗り心地を向上させ、燃料消費と排出を低減する一方、高いダウンフォースが安定性、安全性、ドライビング・ダイナミクスを向上させます。

シャシーとサスペンション

ウルスはスーパーSUV の新たなベンチマークであり、真のランボルギーニモデルです。デザインとエンジニアリングのイノベーションによって、最高のドライビングと全体の効率化を目的としたクラス最高の軽量技術とパワーウェイトレシオを実現します。

ランボルギーニのデザイナーと研究開発エンジニアのチームが、乾燥重量 2,200 kg 以下を目指して、ウルスのシャシー全体の軽量化に重点的に取り組みました。そのため、最高の快適性と操作性、燃費と CO₂ 排出量の向上を目指して、最大剛性を確保するべく、シャシーはアルミニウムとスチールの組み合わせが必要でした。フレームのないアルミ製ドア、C キャリパーを代替するトーションビーム、アルミ製クロスメンバーだけでなく、高強度スチール材料製シャシーフロアもウルス軽量化に貢献しています。シートは軽量かつ快適性を目指して設計・製作が行われ、リムはフォージドアルミニウム製です。



Press Release

アルミニウム製サブフレーム付きフロント・アクスルとサスペンション・ストラット・サポートは、特別設計のピボット・ベアリングとウィッシュボーン構造を内蔵しています。最適なサブフレームを装備したリア・アクスルの特徴は、アルミニウムとスチールからなるハイブリッド構造です。エンジンの動作のシャシーへの影響を低減するべく、パワートレイン・マウント・システムが考案されました。不快なシャシーの振動を除きつつ、剛性に優れたシャシーにより、ランボルギーニの特徴であるスポーティなフィーリングを実現します。アダプティブ・エア・サスペンション・システムは、路面やドライブ条件に応じて車高の上下調節を可能にします。またドライバーはセンターコンソール、Tamburo ドライブモード・セレクターに装備したウルス独自のコントローラーの設定を変えることにより、高さをカスタマイズすることができます。

ブレーキとホイール

ウルスのブレーキシステムは、高い耐熱性を備え、高速からのブレーキ、サーキットや高地といった過酷な条件下での激しいブレーキにも対応します。標準装備のカーボン・セラミック・ブレーキ(CCB)は、市販されているブレーキの中で最大で、前部のサイズは 440 x 40 mm、後部は 370 x 30 mm です。このシステムは実質的にブレーキフェードがなく、あらゆる条件と環境で性能と安全性を保証します。

ホイールのオプションは 21 インチから 23 インチとなっています。あらゆる地形に対応するタイヤから夏用、冬用、オールシーズン用、スポーツ用まで様々なタイヤを装着できます。これらのタイヤはすべて、ピレリがランボルギーニ・ウルスのために特別に開発しました。なお、安定性とスポーティな運転挙動を強化するため、フロントとリアでタイヤ幅が異なります。

Versatility and usability

インテリア

ウルスはラグジュアリーSUV であると同時に最もパワフルで、ドライバーと同乗者がともに楽しめる、スーパー・スポーツカーのダイナミズムを備えています。インテリアのデザインは、まさにランボルギーニらしいデザイン、配色、そしてエクステリアとも一致しています。内装は外観と同様にランボルギーニモデルらしく、スポーティでありながらラグジュアリーなデザインになっています。

車のデザイン、パワー、動的能力は、ドライバーがパイロットの感覚を味わえるものであるべきというランボルギーニの原則を体現しています。ウルスは高度な技術を搭載しながらも、直感的に運転できます。ドライバーと同乗者には、低い位置にありながら快適なスーパー・スポーツカーのシートポジションが与えられます。キャビン内のコックピット・コントロールはドライバーの手に届く位置にあります。ドライバー側に向けた、ダッシュボードの細い Y 字形デザインは、上昇するセンターコンソールに連結しています。これは LM002 やランボルギーニ・スーパー・スポーツカーにインスパイアされたものです。エアベントやドアハンドルなどのエレメント、さらにはカップホルダーやエアバッグモジュールといったアイテムにまで、ランボルギーニのテーマである六角形が室内全体に施されています。多機能の 3 本スポークステアリングホイールには振動ダンパーが内蔵され、あらゆる運転条件での快適性を高めます。多機能スイッチはステアリングホイール上に直感性を重視して配置され、車両の設定、メディア、電話、ナビゲーションをはじめとする、ランボルギーニ・インフォテイメント・システム(LIS)をコントロールします。デジタル化された TFT ディスプレイが、ウルスの主要情報を三次元で表示し、ドライバーによるカスタマイズが可能です。



Press Release

シート

3,003 mm という長いホイールベースと低い乗車位置が、快適さを生み空間を広く感じさせます。ウルス向けに特別に開発された座席は座る1人1人に贅沢さを提供します。

標準装備のフロント DNA メモリー・スポーツ・シートは完全電動で、暖房装置が装備され、12段階の調節が可能です。さらにラグジュアリーでスポーティな18段階で調整可能なフロントシートも、オプションとして選択できます。標準装備のリアベンチシートには、移動と折り畳みが可能なシートバックとISOFIX対応の器具が装着されています。5つの座席を備えた快適な空間を提供しつつ、リアシートの移動と折り畳みを可能とすることで、日常使いでの荷物容量の向上を実現しています。リアベンチシートを下げると、長さ1,050 mm、容量616リットルから1,596リットルまでトランクスペースを大幅に拡大することができます。スポーツ・フロント・シートに伴うオプションとして、さらに二人掛けリアレイアウトを指定できます。これにより、スポーツカーとしての特徴を維持しつつも、並外れた後部座席の快適性を実現します。

カラーとトリム

人間工学に基づく室内には、最高級レザー、アルカンターラ、アルミニウム、カーボンファイバー、ウッドなどの高品質素材が使われています。

室内は、Nero Ade 色または Grigio Octans 色の、ユニカラーレザーとトリムが指定されており、さらにオプションで5色が設定されています。デュアルカラーのバイカラー・エレガントとバイカラー・スポルティーヴォの仕様も設定されており、レザーとアルカンターラがオプションで選べます。ステッチのオプションとシートベルト、フロアマット、カーペットの色によって、ウルスをお客様自身でさらにスポーツスタイルからエレガントまで、ご希望どおりにカスタマイズすることができます。ダッシュボードトリムは、標準装備は Piano Black 色と Brushed Aluminum 色の仕上げになります。オプションとして Open Pore ウッド仕上げが選択でき、アルミニウムまたはカーボンファイバーと組み合わせられます。

TERRA と SABBIA のドライブモードを組み込んだオプションのオフロード・パッケージには、独特の金属強化バンパーと、雪上、森の中、砂丘でのオフロード走行のために追加した、床下保護装置が含まれます。

ランボルギーニ・インフォテイメント・システム III (LIS) とコネクティビティ

ウルスのインフォテイメント・システムは、日常の使いやすさを反映しており、先進のコネクティビティ機能を装備しています。標準装備に含まれるのは、中央の“Tamburo”の上に配置され、ウルスのインテリアと完全に一体化する2つの画面にまたがる LIS タッチスクリーン・インフォテイメント・ディスプレイです。上の画面はエンターテインメント用の主要インターフェースで、メディア、ナビゲーション、電話、車両の状態に関する情報などの機能を管理します。下の画面にはキーボードと手書き対応画面があり、情報インプットと温度・湿度調整や座席暖房などの機能コントロールができます。

LIS III には革新的なコネクテッド・ボイス・コントロールが組み込まれています。自然な会話の音声指令を認識して、音楽、電話、テキストメッセージ送信などの機能が搭載されています。標準装備には、ワイヤレス充電と音声制御付きの電話ホルダーコンパートメントが含まれます。その内容は、パーソナル・メモリ・プロフィール、USB 接続、Bluetooth メディア・ストリーミング、DVD プレイヤー、サウンドシステムなどです。



Press Release

その他のオプション機能には、テレビチューナー、DAB、CI カードリーダー、ヘッドアップ・ディスプレイ、ランボルギーニ・スマートフォン・インターフェース(LSI)、リアシート・エンターテイメント用スマート・ディスプレイがあります。ランボルギーニ・コネクトも設定されています。

ランボルギーニ・スマートフォン・インターフェースにより、iOS (Apple) とアンドロイド (Google) のスマートフォンとのコネクションが可能になります。Apple CarPlay™、Android Auto、Baidu CarLife を標準でサポートします。

4 つのチャンネルが主導する、8 個のスピーカーを備えたサウンドシステムが標準で装備され、21 個のフルアクティブスピーカーとともに、3D サウンドと 1,700w の出力を備えた最高級のバング & オルフセン・サウンド・システムを指定することもできます。このシステムはランボルギーニ、フラウンホーファー IIS、ハーマンが連携して作り、フロントとリアの全乗員に自然な 3D サウンド体験をもたらします。

先進運転支援システム (ADAS)

ウルスの ADAS システムは、総合的レベルのレベル 2 の (SAE 基準) 安全、セキュリティ、運転支援を提供します。ハイビーム・アシスタントは、必要に応じてハイビームモードの内外でヘッドライトを自動的に暗くします。衝突を防止・緩和する PreCognition システムと同様に、フロントとリアのパーキング・センサーとクルーズ・コントロールも標準装備に含まれています。オプションの ADAS システムは、交通管理システム、トップ・ビュー・カメラ、トレーラー・カップリング・モードを取り入れています。

キーが使用中の場合に機能するセンターコンソールの「スタート」ボタンを用いたキーレス・スタート機能も装備しています。ウルスへのアクセスも、各ドアとテールゲートのセンサーパネルにタッチすることで許可されます。設定をカスタマイズすることにより、様々なドライバーに合わせた車の設定を行うことができます。シートの好みや EGO ドライブモードのスタイル、さらにインフォテイメントのプリセットまで、最大 7 個までプログラムが可能なため、簡単に切替えが可能です。

リアのテールゲートは、ドライバー側のドアにあるスイッチ、キーに付いているボタン、またはテールゲートに装備した手動ボタンを使って、電動で作動させることができます。オプションの「バーチャル・ペダル」を使うと、蹴る動作でテールゲートを開けられます。ドライバーがテールゲートのオープン・アングルをカスタマイズできます。標準装備された Easyload Assist により、後部の高さを変えられるため、高さを下げて荷物の積み降ろしが楽に行えます。

価格と市場投入時期

2018 年春に、最初のお客様へデリバリー予定です。

日本での価格は、26,075,736 円 (税抜) です。



Press Release

Technical Data

シャシーとボディ

ボディとフレーム

アルミニウムコンポジット設計の完全軽量ボディ

サスペンションジオメトリ

マルチリンク式フロントおよびリア

サスペンションタイプ

電気機械式アクティブ・ロール・スタビライゼーションを装備したアダプティブ・エア・サスペンション

ブレーキシステム

フロントおよびリア CCB

キャリパー

フロント - 10 個のアルミニウム製ピストンブレーキキャリパー:
放射状固定、フェノール樹脂インサート付きピストンを備えた 21 インチのキャリパー

リア - 6 個の鋳鉄製ピストンキャリパー:

電動パーキングブレーキを内蔵した 19 インチのキャリパー

ディスク (フロント - リア)

カーボンセラミックディスク(Ø 440 x 40 mm - Ø 370 x 30 mm)

ステアリング

Tamburo ドライブモードが管理する、異なるサーボトロニック特性を備えたステアリングギアとランボルギーニ・リアホイール・ステアリング (LRS)

ステアリングホイール比

13.3:1

ロック位置からロック位置までの
ステアリング回転数

2.29

ステアリングホイール直径

376 mm

タイヤ(レンジ)

ピレリ P ゼロ、フロント: 285/45 R21 最大 285/35 R23

リア: 315/40 R21 最大 325/30 R23

ホイール (レンジ)

フロント: 9,5Jx21” 最大 10Jx23”

リア: 10,5Jx21” 最大 11,5Jx23”

最小回転円

11.8 m - 平均値、動力学的条件により変動、
ランボルギーニ RWS が寄与

エアバッグ

最大 8 個のエアバッグ

エンジン

種類

V 型 8 気筒、90°

排気量

3.996 ccm

シリンダー当たりバルブ数

4

バルブタイミング

吸気・排気カムシャフトを連続的に調整

ターボチャージャー

バイターボ・ツインスクロール



Press Release

最大出力 6,000 rpm / 650 hp (478 kW)

比出力 162.7 hp/l

最大トルク 2,250-4,500 rpm / 850 Nm

最高回転数 6,800 rpm

ドライブトレイン

トランスミッションの種類 フロント・ディファレンシャル、セントラル・ディファレンシャル(Torsen)、アクティブ・トルク・ベクタリング・リア・ディファレンシャルを一体化した四輪駆動

ギアボックス 8速オートマチック・ギアボックス、特性はドライブモードによる

パフォーマンス

最高速度 305 km/h

0-100 km/h 加速 3.6 秒

0-200 km/h 加速 12.8 秒

100-0 km/h 制動 33.7 m

寸法と重量

ホイールベース 3,003 mm

全長 5,112 mm

全幅(ミラーを除く) 2,016 mm

全高 1,638 mm

トレッド(フロント-リア) 1,695 mm - 1,710 mm

地上高 158 mm - 248 mm (エアサスペンションにより調整可能)

乾燥重量 <2,200 kg

パワーウェイトレシオ 3.38 kg/hp

容量

燃料タンク 85 リットル

トランク 616-1,596 リットル



Press Release

燃費*

市街地 16.7 l/100 km

都市外部 9.7 l/100 km

複合 12.3 l/100 km

Co2 排出量 279 g/km

** EU 指令 EC 715/2007 準拠

■ リリースに関するお問い合わせ先

広報窓口: ランボルギーニ・ジャパン PR事務局(共同ピーアール株式会社内)

担当: 中里、西辻、横山

TEL: 03-3571-5238

FAX: 03-3571-5380

Email: lamborghini-pr@kyodo-pr.co.jp

■ ご掲載いただく場合のお客様のお問い合わせ先

ランボルギーニ カスタマーセンター TEL: 0120-988-889

アウトモビリティ・ランボルギーニ ホームページ www.lamborghini.com